

1. 評価結果概要表

作成日

平成 19 年 7 月 30 日

【評価実施概要】

事業所番号	407400219		
法人名	株式会社 相即		
事業所名	グループホーム いやしの家		
所在地	福岡県糟屋郡志免町大字別府137-16 〒811-2025 (電話) (092) 937-0318		
評価機関名	社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会		
所在地	福岡市中央区荒戸3-3-39		
訪問調査日	平成19年7月2日	評価確定日	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

小学校やコンビニが建並ぶ集合住宅地の中にありホーム玄関はウッドデッキに木のベンチやグリーンを配し心穏やかな空間となっている。志免町にあっては唯一のグループホームであり、3ユニットと全体の規模は大きい、ユニットごとに違う顔を持つ「家庭」のような特徴ある取組みが行われている。詳細な聞き取りや入念な観察を通じて「その人らしさ」に思慮し、趣味活動や外出等をプランに取り入れての自立支援への取組みがある。協力医療機関による定期的な往診や健診、他医療機関との連携も密に取れており入居者・家族の安心に繋がっている。計画的な勉強会や外部講師を招いての研修等、職員が自己研鑽に取り組む姿勢を通じて、さらに、質の高い介護実践が期待されるホームである。

【重点項目への取組状況】

【情報提供票より】(平成19年 6月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14 年 11 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	22 人 常勤	19 人 非常勤	3 人 常勤換算 19.6 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋ALC造り 4階建ての～ 2.3.4階部分
------	----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	実費程度 円	
敷金	有(200,000 円)	無		
保証金の有無(一時金を含む)	有() 円	有の場合償還の有無	有 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	100 円
	または1日あたり		1,100 円程度	

(4) 利用者の概要(6月 1日現在)

登録人数	27 名	男性	3 名	女性	24 名
要介護1	9 名	要介護2		9 名	
要介護3	6 名	要介護4		2 名	
要介護5	1 名				
要支援1	0 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 85.33 歳	最低	66 歳	最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	・特別医療法人栄光会栄光病院 ・たかき歯科医療
---------	-------------------------

重点項目での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

昨年より運営推進会議を開催し、ホームの状況や外部評価の結果報告や取組みについて発表し検討した。委員である町内会長の働きかけもあり、自治会主催のデイサービスやサークルへの参加、広報紙の発行などへの活発な取組みが見られる。

重点項目 今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)

自己評価内容について各ユニットで話し合い主任会議でまとめるなどの取組みがある。今後も様々な内容について運営推進会議や各ユニットで話し合うなど、質の向上に向けての取組み姿勢が充分うかがえた。

重点項目 運営推進協議会の主な検討内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)

入居者・家族・主治医・行政担当職員・地域住民等を交えての運営推進会議の開催がある。運営推進会議で地域交流の取組みについて、地域サロンやサークルへの参加等の具体的な提案を受けている。また、行政職員による施設見学が行われており、地域との交流や行政との活発な連携が図られるなどの成果が見られる。

重点項目 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)

運営推進会議や家族会時の働きかけ、家族との個人面談などを利用して家族の意見等の表出に努めている。意見箱の設置や写真の掲示、「便り」の発行を通して意見や要望が言いやすい雰囲気づくりへの取組みがある。

重点項目 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

自治会主催のサロンやサークルへの参加を通じて、地域の高齢者との交流を深めている。また、併設するデイサービスを拠点としたサークル活動への参加、散歩を兼ねた学童の見守りや、小中学生の体験学習の受け入れ、広報誌の発行を行うなど、地域との連携に取り組んでいる。

2. 調査報告(詳細)

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている	法人の前身である病院の利用者や地域住民の為に 役立ちたいという想いから開設した。法人名である 【相即】は仏教用語であり広義として「互いが互いを大 事に」という意味である。この、癒し、癒される関係つ くりを理念に掲げ、入所者と職員、地域とが支えあう関 係づくりを意識したかわりがある。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	就職時と週2回の朝礼時の唱和を実践している。癒 し癒される関係作りに着目したプランを作成し、実践し ていくなど、理念の浸透に取り組んでいる。		
2 地域との支え合い					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活 動に参加し、地元の人々と交流するこ とに努めている	地域サロンやサークルへの参加、また併設するデイ サービスを拠点としたサークル活動への参加、広報 紙の発行や、小学校の体験学習等の継続的な受け 入れなど、地域住民との交流への取組みがある。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及 び外部評価を実施する意義を理解し、評 価を活かして具体的な改善に取り組んで いる	前回の外部評価結果は、いつでも閲覧できる状態 であり、運営推進会議での報告と配布を行うなど、積 極的に公表している。外部評価結果を踏まえて各ユ ニットで話し合いが行われるなど質の向上に向けた取 組みがある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政職員・自治会長・入居者・家族・主治医等の参加により、2ヶ月毎の運営推進会議が開催されている。運営推進会議では、地域交流のための町内会活動への取組として地域サロンやサークルへの参加、広報紙の発行、隣接する小学校児童の見守り等、具体的な提案を受けるなど地域との交流や連携に努めている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所の方から施設見学の提案や介護保険の情報提供を行うなど積極的な働きかけがある。行政担当職員からは、公民館の使用状況表等を持参していただき、参加できるサークル内容の紹介を受ける等、継続的な連携に取り組んでいる		
7 追加	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	認知症のケアの一環として、年間計画の中に位置付けて勉強会の実施がある。家族会時の説明や、各フロアに制度に関する資料を置くなど制度に関する周知を図る取組みがある。		地域密着型事業所の情報発信の役割として、家族会や運営推進会議時に繰返しの説明を行ない、制度の正しい理解と周知に努め、必要な時に確実に利用出来るように支援していただきたい。
4 理念を実践するための体制					
8 (7)	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月に1度の広報誌の発行、家族との個別面談等により、心身の状況や健康状態、暮らしぶり等についての報告がある。		
9 (8)	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族会時の働きかけ、家族との個人面談などの表出に努めている。意見箱の設置や写真の掲示、「便り」の発行を通して意見や要望を言いだしやすい雰囲気づくりへの取組みがある。		
10 (9)	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内の異動は極力回避している。新しい職員が入る時は入居者一人ひとりに対する挨拶を徹底するなど関係づくりへ取り組んでいる。入居者は外部見学者の受け入れも良く「よろしく願います」「がんばってね」と受容的に迎え、馴染みの関係が得やすい状況である。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 人材の育成と支援					
11	19 追加	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	年齢・性別・経験等よりも人柄を重視しての採用である。自分の得意分野が生かせる委員会に立候補し、職員間で承認の上活躍している。管理者は職員と個人面談を行い「管理者が考えるあなたの役割」を伝え、職員一人ひとりを認めるなど、職員が生き生きと働けるような工夫がある。		
12	20 追加	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	法人内に人権啓発推進委員補助者が在籍し、その補助者を中心として、年に1度の研修を開催するなど、人権教育や啓発活動への取り組みがある。		
13 (10)	21 (19)	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	急変時の対応、感染予防、事例検討など、さまざまな内容について、計画だてでの勉強会の実施がある。職員の経験やスキルに応じて外部研修への参加を勧めたり、外部からの講師を招くなど、職員研修への積極的な取り組みがある。		
14 (11)	22 (20)	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に参加しており、協議会主催での研修や見学、情報交換や交流などを通じて質の向上への取り組みがある。		現在実施している、研修や情報交換等の(見聞型)交流から、職員交換等の(体験型)交流を通して、新たな発見や気付きを産む機会を持ち、更なるサービスの質の向上に向けての取り組みを期待します。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15 (12)	28 (26)	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設のデイサービス利用からの入居、見学や体験入居の利用から始めるなど、馴染みの関係づくりへの取り組みがある。		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16 (13)	29 (27)	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の会話の中で、人生経験を通じての体験談等を知り、精神的な部分で常に学びあう関係づくりに配慮するなど、「癒し癒される関係」の理念にもとづき入居者から学ぶ姿勢を心がけている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1 一人ひとりの把握					
17 (14)	35 (33)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に生活歴等を把握し、日々の活動を通して再度、希望や想いを確認するなど、入居者の希望や想いの把握に努めている。		
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18 (15)	38 (36)	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時に把握した生活歴や希望、家族の意向等に基づきケアカンファレンスを行ない、介護計画を作成するなどの取り組みがある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19 (16)	39 (37)	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行う とともに、見直し以前に対応できない変 化が生じた場合は、本人、家族、必要な 関係者と話し合い、現状に即した新たな 計画を作成している	短期目標について3ヶ月毎、長期目標について6ヶ 月毎にカンファレンスを開催している。また、その都 度、変化に合わせてのカンファレンスの開催がある。 また、毎月のフロアミーティングにて、入居者の状況 に即した話し合いが行われている。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
20 (17)	41 (39)	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に 応じて、事業所の多機能性を活かした柔 軟な支援をしている	地域の方の、認知症高齢者に関する相談や、面談 に対応したり、在宅酸素を使用しながらホームでの生 活の継続を支援するなど柔軟に対応している。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21 (18)	45 (43)	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関 係を築きながら、適切な医療を受けられ るように支援している	入居者個々の、かかりつけ医との連携を保ちなが ら、事業所協力医療機関による月に2回の往診と年2 回の定期健診を実施している。歯科、眼科、耳鼻科等 については、今までのかかりつけ医への受診はホーム 対応にて支援するなどの取組みがある。		
22 (19)	49 (47)	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、できるだけ早い段階から本人や家 族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有している	状況に応じて本人、家族、事業所、主治医を交えて 協議し、療養計画書にて共有している。センター方式 を利用するにあたり、ターミナルにおけるあり方の表 出に努めている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23 (20)	52 (50)	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損 ねるような言葉かけや対応、記録等の個 人情報の取り扱いをしていない	プライバシーや人格の尊重について、勉強会や、そ の都度の指導を通じて対応の徹底が図られている。 入居者の希望に沿った呼称や、ゆっくりとした会話や 丁寧なお礼を述べるなど、入居者一人ひとりを尊重し た対応が見られた。		
24 (21)	54 (52)	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している	入居者一人ひとりに合わせた個別の日課表を作成 している。食事をとるタイミング、更衣にかかる時間、 日中の過ごし方など、日常生活全般において入居者 のペースにあわせた対応が見られた。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25 (22)	56 (54)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利用 者と職員と一緒に準備や食事、片付けを している	食事の準備や、配膳、後片付け等の取り組みととも に、職員と入居者は同じテーブルを囲み、料理の感想 等を話すなど、和やかな雰囲気であった。		
26 (23)	59 (57)	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてし まわずに、一人ひとりの希望やタイミ ングに合わせて、入浴を楽しめるよう に支援している	基本は週3回の入浴だが、本人の希望があれば毎 日でも入浴可能である。好みの湯温、一番風呂、夕 食後の入浴支援など、ゆっくりと入浴していただくた めの配慮がある。お風呂が苦手な方には、懇意な方に 誘っていただいたり、タイミングを見ての声掛け等 の支援がある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27 (24)	61 (59)	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせる ように、一人ひとりの生活歴や力を活か した役割、楽しみごと、気晴らしの支援 をしている	入居時の詳細なアセスメントの実施により把握した 情報をもとに、計算ドリル、書道、絵画、絵手紙の作 成、賛美歌の歌唱、キーボード演奏など、趣味や習慣 を生かせる機会を積極的に作っての支援がある。		
28 (25)	63 (61)	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひ とりのその日の希望にそって、戸外に出 かけられるよう支援している	計画的な行事や地域活動への参加、日常的散歩や 買い物、ゴミ捨て、配達された牛乳や物品の取込み 等様々な機会を見つけての支援がある。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29 (26)	68 (66)	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでい る	鍵をかけることの弊害や、頻繁に徘徊される方への 対応については、身体拘束の研修を通じて話し合い、 日昼は開錠されている。		
30 (27)	73 (71)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身に つけ、日ごろより地域の人々の協力を得 られるよう働きかけている	年2回の訓練や月1回の警報機・消火器の点検や 使い方、避難経路の確認等の実施がある。消防訓練 時には組長が見学に来られている。近隣のコンビニ エンスストアには、非常災害時の、食料や水の調達の 協力依頼をしている。		運営推進会議時のお願いや避難訓練時の地域住 民の参加など、いざというときに地域の協力が得ら れるよう更なる働きかけを行っていただきたい。近隣 には災害時避難所となる小学校と、24H営業のコンビ ニがあり、災害時には地域住民が集まるであろうと いう特性もあり、これらを思慮に入れた、働きかけや 取り組みを期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31 (28)	79 (77)	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	入所者ごとの嚥下・咀嚼状態、栄養状態等をアセス メントしての献立表の作成がある。職員には、栄養士 の免許取得者も在籍しており、給食委員会では献立 内容等について情報交換を行うなど協議している。水 分補給の機会を確実に確保し、食事・水分量共に記 録を行ない把握している		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32 (29)	83 (81)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は、動線や目線に配慮された家具配置に なっている。採光や騒音等にも配慮され、心地良い明 るさである。リビングには生花や書道の作品、七夕飾 り等、季節感を取り入れた装飾がほどこされており、 見当識へ働きかける配慮がある。リビングの他に畳 のスペースもあり、ゆっくりとくつろげる雰囲気づくり となっている。		
33 (30)	85 (83)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのものを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	備付けのベッドはあるが、使用については、本人と 家族が選択できる。居室は本人、家族が相談して、家 具や身の周りの物を置いている。ダイヤル式電話や、 屏風、過去帳（仏具）、ご主人の写真等、それぞれ、そ の方らしさがあふれる工夫がなされている。		

 は、重点項目。
(数字)は、国の標準例による番号